

令和元年度磯焼け対策全国協議会 議事次第

日時： 令和2年2月7日（金） 10:00～17:00

会場： 全国都市会館 2階 大ホール

1. 挨拶（水産庁漁港漁場整備部長 吉塚 靖浩） 10:00～10:05

2. 議事

（1）各地域からの報告 10:05～12:05

ガンガゼ駆除および母藻投入による藻場回復活動

福岡県水産海洋技術センター 林田 宜之

紀北町島勝浦でのガンガゼ駆除による藻場保全

三重県紀北町農林水産課 五味 祐汰

国立大学法人三重大学大学院生物資源学研究科 倉島 彰

遮光シートによるウミアザミ駆除の取組とその効果

熊本県水産研究センター 齋藤 剛

五島市における磯焼け対策

長崎県五島市農林水産部水産課 三井 寛之

～ 休憩 ～

12:05～13:15

（2）磯焼け対策に関連した話題提供 13:15～15:00

海外での藻場・磯焼けについて

国立大学法人東京海洋大学大学院海洋生物資源学部門 藤田 大介

ブルーカーボンを用いたCO₂吸収源対策と今後の展望

国立研究開発法人水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 堀 正和

高知県における海水温上昇に伴う藻場の変化と藻場造成の取り組み

国立大学法人高知大学総合研究センター 海洋生物研究教育施設 田中 幸記

意見交換

～ 休憩 ～

15:00～15:15

（3）パネルディスカッション「藻場・干潟ビジョンを踏まえた藻場保全活動に向けて」

15:15～16:55

1) パネラーによる話題提供

藻場・干潟ビジョンの策定状況について

水産庁漁港漁場整備部計画課 片石 圭介

北海道での藻場・干潟ビジョンについて

北海道水産林務部水産局水産振興課 上條 明日菜

2) パネルディスカッション (討論、質疑)

コーディネーター 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産工学研究所

桑原 久実

パネラー

国立大学法人東京海洋大学大学院海洋生物資源学部門

藤田 大介

国立大学法人三重大学大学院生物資源学研究科

倉島 彰

国立大学法人高知大学総合研究センター 海洋生物研究教育施設

田中 幸記

水産庁漁港漁場整備部計画課

片石 圭介

北海道水産林務部水産局水産振興課

上條 明日菜

3. 閉会挨拶 (水産庁漁港漁場整備部整備課長 浅川 典敬)

16:55

(注) 発表題目等は変更となる場合があります。

(参考)

2月8日(土) 12:00～16:30 に東京大学大講堂(安田講堂)にて、藻場や干潟等の環境生態系の保全など水産業・漁村の持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動事例報告を行う、令和元年度 シンポジウム「里海保全の最前線」(主催:全国漁業協同組合連合会、全国内水面漁業協同組合連合会)が開催されます。